

美少女の記号論

参加方法

会員以外の方も、懇親会を含む全ての企画にご参加いただけます。下記の方法でお申し込みください。

大会

期 日:2015年5月16日(土)~5月17日(日)

会 場:秋田公立美術大学

参加費:会員・一般ともに1,000円(資料代)を、当日、会場受付にてお支払いください。

申込方法:5月11日(月)までに、専用の申し込み用紙を大会事務局へご送信ください。申し込み用紙や宛て先などは、記号学会第35回大会のFacebook公式イベントページ美少女の記号論上に掲載しております。

懇親会

期 日:2015年5月16日(土) 18:00~20:00

会 場:秋田公立美術大学レストハウス

参加費:会員・一般3,000円、学生1,500円を、当日、会場受付にてお支払いください。

申込方法:5月11日(月)までに、専用の申し込み用紙を大会事務局へご送信ください。申し込み用紙や宛て先などは、記号学会第35回大会のFacebook公式イベントページ美少女の記号論上に掲載しております。

日本記号学会 第35回大会

主催:日本記号学会

お問い合わせ:秋田県秋田市新屋大川町12-3-302

秋田公立美術大学 内
記号学会 第35回大会事務局(阿部)
jass_official@yahoo.co.jp

f 美少女の記号論

ごあいさつ

会長:吉岡 洋(京都大学教授)

日本記号学会第35回大会が、まもなく秋田公立美術大学において開催されます。今回のテーマは「美少女の記号論」です。「あきたこまち」のパッケージには市女笠をかぶった美少女のイラストが描かれるなど、現在私たちの身のまわりは、大都市であるか地域であるかを問わず、美少女のイメージであふれています。「美人」が実在の美しい女性であるのに対して、「美少女」はあくまで非在のもの、ヴァーチャルな存在のようにみえます。現代社会はあたかも美少女に取り憑かれているかのようですが、彼女らはそもそもどこから来て、私たちをどこに連れて行こうとしているのでしょうか?

秋田で開催される今回の日本記号学会大会においては、この「美少女」という文化表象をめぐる諸問題を、オタク文化やサブカルチャーの範囲を超えて、神話、テクノロジー、サイエンスフィクション、美術史といった様々な観点から考察します。そうした議論を通じて、美少女とはそもそも何者なのか、現代社会は美少女にどんな救済を求めているのかを探っていきたくと考えています。

みなさまのご参加を心よりお持ちしています。



5月16日(土)

メイン会場：秋田公立美術大学 大講義室

12:00~13:00 理事会

12:40~13:40 **大会受付**

13:00~13:30 総会

13:40~14:00 **問題提起**

「美少女は捕獲できるか？」吉岡洋

14:00~15:00 **講演「帝国の美少女」(仮)** 小谷真理

15:00~15:20 休憩

15:20~17:20 **ディスカッション**

「美少女とはいかなる記号なのか？」

小谷真理、小澤京子、水島久光、小池隆太
司会：吉岡洋

17:30~18:00 **懇親会受付**

アトラクション

18:00~20:00 **懇親会**

5月17日(日)

メイン会場：秋田公立美術大学 大講義室

9:40~10:00 **大会受付**

10:00~11:50 **学会員による研究発表**

11:50~13:30 昼食休憩／理事会

秋田公立美術大学構内ツアー

13:30~15:30 **シンポジウム「美少女と美術・美術史」**

工藤健志、藤浩志、佐藤守弘、大久保美紀
司会：前川修

15:30~17:00 **ご当地アイドル「pramo」ミニコンサート**

クロージングトーク「美少女VS記号学会」
pramo＋今大会登壇者 司会：室井尚
(予定)

研究発表 分科会 A

会場：秋田公立美術大学 講義室2

司会：水島久光

発表1 10:00~10:20

「自己表象としての筆致—書くことと書かれたものへのフェチシズム、現代のスタイルとは何か」

大久保美紀(パリ第8大学非常勤講師)

発表2 10:30~10:50

「予期と驚き：「意味」を獲得する方法としてのアブダクション」

佐古仁志(立教大学・日本学術振興会特別研究員)

発表3 11:00~11:20

「日本という言語空間における無意識のディスクール」

岡安裕介(民俗学者)

発表4 11:30~11:50

「アクターネットワーク理論による米国人工哺育史再考—酪農畜産学の拡張としての小児科学」

吉岡公美子(立命館大学教授)

研究発表 分科会 B

会場：秋田公立美術大学 講義室3

司会：佐藤守弘

発表1 10:00~10:20

「作品はどこに—ゴードン・マッタ＝クラークの残されたもの」 居村匠(神戸大学大学院博士前期1年)

発表2 10:30~10:50

「アピチャップン・ウィーラセタクンの領域横断性—映画作品とインスタレーション作品の関わりあいをめぐる」 中村紀彦(神戸大学大学院博士前期1年)

発表3 11:00~11:20

「矢印の記号論」 伊藤未明(視覚文化論)

発表4 11:30~11:50

「盆トレ問題—デザインの笑いにおけるズレと着地」

吉原直彦(岡山県立大学教授)



秋田駅西口バスターミナル7番より秋田中央交通バス新屋線712系統・713系統、もしくは同ターミナル10番より羽後交通バス急行本荘・秋田線にて、「美術大学前」バス停まで約20分。「美術大学前」バス停下車後、大会受付までは徒歩3分程度。

